

【平成 22 年度・後期学期・ミクロ経済学 II・演習 1】

☆ 提出日：平成 22 年 10 月 12 日(火)講義開始時

【問】ある財(X 財とする)の市場で、政府が財の価格に課税する場合について、後の設問に答えなさい。但し、この市場の需要関数と供給関数は次のように与えられている。また、設問への解答には、それを説明するためのグラフを描き加えること。解答を見やすくするために、ひとつの設問に複数のグラフを描いてもよい。

$$\text{需要関数：} Q_d = 80 - 0.2P$$

$$\text{供給関数：} Q_s = -11 + 0.5P$$

- (ア) この市場が全く課税されない場合の競争均衡を求め、その時の消費者余剰と生産者余剰を求めなさい。
- (イ) (ア) で求めた競争均衡における、需要の点の価格弾力性を求めなさい。
- (ウ) 今、政府が定額税を課税し、財の価格に 28 円上乘せするとする。
- ① この時の市場での課税後の均衡を求めなさい。この時の消費者が支払う価格量、そして生産者が実際に受け取る価格を求めなさい。
  - ② (ウ)で述べた課税後の均衡における、消費者余剰、生産者余剰、政府の税収および死荷重を求めなさい。
- (エ) 今、政府が課す税金が、(ウ)のような定額税ではなく、価格に対して 5%( $t = 0.05$ )の定率税を課すとする。この定率税が課された市場における課税後の均衡について、
- ① この時の市場での課税後の均衡を求めなさい。この時の消費者が支払う価格量、そして生産者が実際に受け取る価格を求めなさい。
  - ② (ウ)で述べた課税後の均衡における、消費者余剰、生産者余剰、政府の税収および死荷重を求めなさい。